

川重に環境対応で優遇金利 政投銀

2022/3/31 22:20 | 日本経済新聞 電子版



川崎重工業は31日、環境対応などの取り組みを用途にすると金利が優遇される融資「サステナビリティ・リンク・ローン(SLL)」を日本政策投資銀行から受けると発表した。借入額は明らかにしていないが、大型船建造や水素の供給網拡大に充てる。同社は世界初の液化水素運搬船などを軸に脱炭素戦略を進めている。

融資を受ける際の環境目標として、2027年3月期までに大型液化水素運搬船1隻の建造を終え、32年3月期までに日本に運搬可能な水素を年間22万5000トン以上に増やすことをめざす。

同社は同日、23年3月期決算から日本会計基準から国際会計基準(IFRS)に変えることも発表した。環境対応などグローバル事業を拡大するためとしている。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

